

資 料 提 供	
令和4年11月3日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 (山本)
電 話	0857-26-8044

県立博物館 歴史の窓「戦国時代の土地の売り買い—契約書に見る 中世人—」の展示を行います

当館歴史・民俗展示室「歴史の窓コーナー」の展示替えを行いますので、県民のみなさんにひろく周知するため、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

記

- 1 展示テーマ 「戦国時代の土地の売り買い—契約書に見る中世人—」
- 2 趣旨
現代人にとって土地は重要な財産の一つです。土地は家を建てて居住するだけでなく、様々な収益をえることもでき、私たちの生活の基盤となるものです。これは中世以前の人々にとっても同じでした。
中世の人々は、土地自体の所有権だけでなくそこから上がってくる収益だけの売買、年紀と呼ばれる現在の抵当売りの様な売買など、非常に複雑な取引を行っていました。その際に作成された売券という契約書が残されており、その取引の一端を知ることが出来ます。本展示では因幡・伯耆国の戦国時代の売券から、土地の売り買いをめぐる人々の姿を紹介します。
- 3 主催 鳥取県立博物館
- 4 展示期間 令和4年11月8日（火）～12月18日（日）
- 6 会場 鳥取県立博物館 歴史・民俗展示室「歴史の窓」コーナー
- 7 入館料 常設展示観覧料180円（団体150円）